

第1回香取海匠地域保健医療 連携・地域医療構想調整会議	議事1 資料1
令和7年8月7日(木)	

医療機関毎の具体的対応方針について

千葉県 健康福祉部 医療整備課 地域医療構想推進室

電話番号 : 043-223-2457 メール : chihuku@mz.pref.chiba.lg.jp



地域医療構想の進め方について【国通知】（H30.2.7）

調整会議における具体的議論を促進するため、病院及び有床診療所に対して「具体的対応方針」の策定を、都道府県に対しては、毎年度、具体的対応方針を取りまとめ、地域医療構想調整会議で協議することが求められた。

【※具体的対応方針とは】

各医療機関が定める2025年を見据えた「構想区域において担うべき医療機関としての役割」や2025年に持つべき「医療機能ごとの病床数」等についての方針

調整会議における協議（H31.3）

● H31.3 地域保健医療連携・地域医療構想調整会議開催

各病院等から報告のあった具体的対応方針について協議し、合意が得られた。

⇒その後、変更があった場合は、その都度協議を実施。

⇒ 具体的対応方針に変更があった場合は、引き続き協議をお願いいたします。

※千葉県ホームページから報告様式がダウンロードできます。報告に当たっては下記の様式を御使用ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/keikaku/kenkoufukushi/chiikiiryokousou.html>

ホーム > くらし・福祉・健康 > 健康・医療 > 保健医療政策 > 地域保健医療連携・地域医療構想調整会議



地域医療構想における推進区域及びモデル推進区域の設定等について【国通知】（R6.7.31）

- 国において病床機能報告上の病床数と必要量の差異等を踏まえ、香取海匠構想区域を推進区域に設定。
- 地域医療構想調整会議で協議を行い、推進区域対応方針を策定した上で、区域対応方針に基づく取組を推進することとされた。

【※推進区域対応方針とは】

当該区域における医療提供体制上の課題、当該課題の解決に向けた方向性及び具体的な取組内容を含む方針

香取海匠構想区域推進区域対応方針を踏まえた地域医療構想の推進について（依頼） 【県通知】（R7.6.3）

- 令和7年3月に開催された調整会議において「推進区域対応方針」を協議のうえ策定。
- 今年度は策定した区域対応方針に基づき、各医療機関の具体的対応方針について必要な検証・見直しを行うことが国から求められている。

⇒具体的対応方針について改めて検証・見直しをお願いいたします。

※上記の通知は県ホームページから御確認いただけます。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/keikaku/kenkoufukushi/chiikiiryokousou.html>

ホーム > くらし・福祉・健康 > 健康・医療 > 保健医療政策 > 地域保健医療連携・地域医療構想調整会議

具体的対応方針の変更について（香取海匝地域）



- 前回開催した香取海匝地域医療構想調整会議以降、4 医療機関が内容変更報告。
※作成済の具体的対応方針の一覧表を更新
- あくまで現時点で考えられる役割・機能であり、他の医療機関の方針も含めた地域の状況を確認しつつ、具体的対応方針に変更があった場合には、引き続き報告をお願いしたい。

○変更の報告のあった医療機関

	医療機関名（4 機関）
病院	①国保多古中央病院 ②医療法人積仁会島田総合病院 ③国保匝瑳市民病院
診療所	④香取心臓透析クリニック

○当該圏域の病床機能の状況（R6.7.1）

※ 「休棟等」には非稼働や健診のための病棟等の他、報告対象医療機関のうち未報告の病床等を含む。
※ 推計値の「休棟等」には、診療実績等のデータの欠損により分類不能となった病棟も含む。

（単位：床）

区域	医療機能	必要病床数 (R7年) A	病床機能報告 (R6.7.1) B	差し引き B-A		定量的基準に基づく病床数		
						R6推計値 C	差し引き C-A	
香取海匝	高度急性期	289	75	▲214	不足	189	▲100	不足
	急性期	745	1,501	756	過剰	1,022	277	過剰
	回復期	587	306	▲281	不足	552	▲35	不足
	慢性期	560	689	129	過剰	689	129	過剰
	休棟等	-	78			197		
	計	2,181	2,649	468	過剰	2,649	468	過剰



地域医療構想の進め方について【国通知】（R5.3.31）

- 都道府県は、毎年度、対応方針の策定率等を目標としたPDCAサイクルを通じて地域医療構想を推進すること。
- 目標については、対応方針の策定率が100%に達していない場合は、対応方針の策定率とする。
- 2023年度当初において、既に対応方針の策定率が100%に達している場合における同年度の目標及び2024年度以降の目標については、合意した対応方針の実施率※とする。

⇒本圏域は、令和5年度当初に具体的対応方針の策定率が100%に達しているため、合意した対応方針の実施率を目標としている。

【香取海匠圏域の地域医療構想の進捗に係る目標値：**対応方針の実施率**】

実施率 R6年度末(実績)：95.5% ⇒ R7(目標)：100%

(県全体R6年度末 現状値：策定率 100%、実施率 83.9%)

※具体的対応方針と一致した機能別病床数となっている医療機関の割合。当医療圏では、21医療機関／22医療機関＝95.5%（R7.3.31現在）。

(参考) 今後の取り組みについて



今後の取り組みに関する工程表

取り組みの内容		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度以降 (令和9年度以降)
具体的対応方針 について	変更	具体的対応方針変更の都度、 調整会議において協議		
	実施率の確認	策定済み医療機関については、 具体的対応方針を実施（実施が 困難な場合は、変更の協議）		
非稼働病棟に関する協議 (該当病棟がある圏域)		非稼働病床調査に基づき、現状 と今後の見通しについて協議		
新たな地域医療構想の検討・取組 (国において検討中)		国における 検討・制度的 対応	都道府県の 策定作業	新たな構想に 基づく取組



- 1. 2025年以降において担う役割や病床機能は、地域医療構想と整合的であるかどうか。**
- 2. その他、説明のあった変更の理由等については、地域医療構想に沿ったものであるか。**

以上の2点について御協議をいただきたい。

病院・有床診療所に係る方針変更報告書（具体的対応方針）

1 基本情報等（変更事項は該当項目に☑）

法人名	多古町
医療機関名	国保多古中央病院
所在地	千葉県香取郡多古町多古 388 番地 1
変更事項	<input type="checkbox"/> 今後担う役割 <input checked="" type="checkbox"/> 病床機能

2 2025年以降において担う役割（該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前（2025年）											
変更後（2025年）											
R0年見込み※											
その他の内訳及び補足等											

※R8年以降に役割の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載ください

3 病床機能及び入院料

	変更前 (2025年)	変更後 (2025年)	R0年 見込み※	届出予定の入院料
4 機能 合計	99 床	86 床	床	
高度急性期	床	床	床	
急性期	65 床	40 床	床	
回復期	34 床	46 床	床	地域包括ケア入院医療管理料 1
慢性期	床	床	床	
人間ドック等	床	床	床	
休棟等	床	床	床	
廃止予定	床	床	床	
介護施設等への移行予定	床	床	床	

※R8年以降に病床機能の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載ください

4 病床機能、担うべき役割を変更する理由等

<p>香取海匠保健医療圏で不足する回復期病床を増床して地域連携を強化するとともに、医療から介護サービスまでを提供する当院のケアミックス機能を拡充するため、急性期病床の一部を転換し地域包括ケア病床を拡大する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7.7～ 急性期 52 床、回復期 34 床、計 86 床 ・R7 中 急性期 40 床、回復期 46 床、計 86 床

病院・有床診療所に係る方針変更報告書（具体的対応方針）

1 基本情報等（変更事項は該当項目に☑）

法人名	医療法人積仁会
医療機関名	島田総合病院
所在地	千葉県銚子市東町 5-3
変更事項	<input type="checkbox"/> 今後担う役割 <input checked="" type="checkbox"/> 病床機能

2 2025年以降において担う役割（該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前（2025年）											
変更後（2025年）											
R〇年見込み※											
その他の内訳 及び補足等											

※R8年以降に役割の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載ください

3 病床機能及び入院料

	変更前 (2025年)	変更後 (2025年)	R〇年 見込み※	届出予定の入院料
4 機能 合計	120 床	96 床	床	
高度急性期	床	床	床	
急性期	120 床	96 床	床	一般病棟入院基本料 4
回復期	床	床	床	
慢性期	床	床	床	
人間ドック等	床	床	床	
休棟等	60 床	60 床	床	
廃止予定	床	床	床	
介護施設等への移行予定	床	床	床	

※R8年以降に病床機能の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載ください

4 病床機能、担うべき役割を変更する理由等

地域医療における地域包括ケアシステムの構築に当たり、病床規模の適正化を図るため。
--

病院・有床診療所に係る整備計画書（具体的対応方針）

1 基本情報

法人名	匝瑳市
医療機関名	国保匝瑳市民病院
所在地	千葉県匝瑳市八日市場イ 1304 番地 千葉県匝瑳市八日市場口（番地未定）

※ 移転の場合、所在地欄には現在地と移転先を二段書きにしてください。

2 整備内容等（該当項目に☑）

整備内容	<input checked="" type="checkbox"/> 新築(建替含む) <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 転換(内部改修等)
------	---

3 2025年以降において担う役割（該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前 (2025年)	○	○	○	○		○				○	
変更後 (2025年)	○	○	○	○		○				○	
整備後(R11年)※	○	○	○	○		○				○	○
その他の内訳及び補足等	新興感染症や再興感染症の発生に備え、発熱外来と感染症病床を整備、中等症までの陽性患者の入院治療を行う										

※R8年以降に整備予定がある場合は、整備後の見込みを記載ください

4 整備後の診療科

診療科名	整備前	内科・呼吸器内科・消化器内科・老年内科・外科・消化器外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・放射線科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・麻酔科・精神科
	整備後	変更無し

5 病床機能及び入院料

	整備前	2025年		整備後 (R11年)※	届出予定の入院料
		変更前	変更後		
4機能 合計	99床	99床	99床	70床	
高度急性期	床	床	床	床	
急性期	84床	84床	84床	35床	急性期一般入院料 6
回復期	15床	15床	15床	35床	地域包括ケア病棟入院料 1
慢性期	床	床	床	床	
人間ドック等	床	床	床	床	
休棟等	床	床	床	床	
廃止予定	床	床	床	床	
介護施設等への移行予定	床	床	床	床	

※R8 年以降に整備予定がある場合は、整備後の見込みを記載ください

6 病床機能、担うべき役割を変更する理由等

現在の病床稼働数から鑑みると、環境が悪い病床（狭い等）を削減し、入院環境を改善するため。
急性期病床が過剰で回復期病床が不足している当医療圏にとって、地域医療構想の実現に必要と考える。
また、令和10年度完成予定の新病院は全室個室化により、効率的な病床稼働が行える計画である。

7 地域の医療機関との連携やネットワーク化に対する考え

地域の医療機関との連携を重視し、紹介患者を中心とした当院の診療機能に応じた手術提供を行う。
当医療圏の中核を担う旭中央病院との連携をより一層強くし、回復期患者の受け入れを行う。

8 整備スケジュール

供用開始予定	令和11年 2月予定
その他補足	令和11年2月の供用開始予定前に、令和8年9月に急性期14床を削減予定。 令和8年9月 急性期84床→70床 令和11年2月 急性期70床→35床 回復期15床→35床

病院・有床診療所に係る整備計画書（具体的対応方針）

1 基本情報

法人名	
医療機関名	香取心臓透析クリニック
所在地	千葉県香取市野田 601 番 1

※ 移転の場合、所在地欄には現在地と移転先を二段書きにしてください。

2 整備内容等（該当項目に☑）

整備内容	<input checked="" type="checkbox"/> 新築(建替含む)	<input type="checkbox"/> 増築	<input type="checkbox"/> 改築	<input type="checkbox"/> 転換(内部改修等)
------	--	-----------------------------	-----------------------------	------------------------------------

3 2025年以降において担う役割（該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前 (2025年)											
変更後 (2025年)											
整備後 (R8年) ※			○								
その他の内訳 及び補足等											

※R8年以降に整備予定がある場合は、整備後の見込みを記載ください

4 整備後の診療科

診療科名	整備前	
	整備後	循環器内科、腎臓内科

5 病床機能及び入院料

	整備前	2025年		整備後 (R8年) ※	届出予定の入院料
		変更前	変更後		
4機能 合計	床	床	床	6床	
高度急性期	床	床	床	床	
急性期	床	床	床	6床	有床診療所入院基本料 1
回復期	床	床	床	床	
慢性期	床	床	床	床	
人間ドック等	床	床	床	床	
休棟等	床	床	床	床	
廃止予定	床	床	床	床	
介護施設等への移行予定	床	床	床	床	

※R8年以降に整備予定がある場合は、整備後の見込みを記載ください

6 病床機能、担うべき役割を変更する理由等

別紙にて開院の経緯、以後の役割、機能についてご説明させていただきます。

7 地域の医療機関との連携やネットワーク化に対する考え

私が退職前に勤務していた香取おみがわ医療センターでの診療体制は徹底した病診連携を事本としてきました。治療の患者さんの8割は香取市および周辺地域からの紹介患者さんであり、治療後はなるべく紹介していただいた診療所にお返しし、お薬の処方をして頂きながら、我々も外来診療してまいりました。今後もこの基本的な診療体制は継続し、地域の診療所との信頼関係を維持していきたいと思えます。また香取おみがわ医療センターにて対応ができなかった患者さんは千葉県循環器病センター、成田赤十字病院、千葉西総合病院、おおたかの森病院、新東京病院等と連携をとってまいりました。今後もこの連携は継続していきたいと思えます。

8 整備スケジュール

供用開始予定	2026年 1月予定
その他補足	

(仮称) 香取心臓透析クリニック

開院の経緯、以後の役割、機能について

《開院の経緯について》

当院は、透析医療と循環器疾患の管理が密接に関係しているという臨床経験から、両者を一体的に診療できる体制の構築を目指して、開院を目指すことと致しました。

開設予定地の香取市は2020年時点で65歳以上の老人が37.2%と非常に高く、2030年代にかけて高齢人口は、ほぼ横ばいの見通しであり高齢化が深刻な状態です。

そのような香取市における医療ニーズとして、慢性腎不全や糖尿病性腎症に対する維持透析（血液透析中心）、心不全・狭心症・不整脈などに対する循環器内科的治療（薬物療法・心臓カテーテル・ペースメーカーなど）、高齢者に多い腎臓病と心疾患の合併管理があります。院長 井上雅裕 は、26年間、独立行政法人 香取小見川医療センター にて腎臓内科および循環器内科の双方で研鑽を積み、特に狭心症や心筋梗塞等に対するカテーテル治療やアブレーション治療、慢性腎不全への維持透析治療法等、循環器疾患を中心に経験を積み透析患者の全人的なケアに力を入れてきました。

同病院の退職に伴い、「患者様の生活の質を守る医療を地域で完結できる場を引き続き提供する」という思いから、透析室と循環器外来を併設したクリニックが必要であると考え当院を開設する運びとなりました。

《以後の役割、機能について》

香取市における循環器医療と透析医療の問題点として、超高齢化・慢性疾患の多発という地域特性の中、循環器専門医・腎臓内科医の不足があります。透析患者の中には狭心症や心不全などの循環器合併症が頻発するため、循環器専門医と透析医療の連携が重要でありながら、双方の医療連携が十分である医療機関が少ないという点も考えられます。さらに当院長の 井上雅裕 が香取おみがわ医療センター退職に伴い、香取市でカテーテル治療が可能な診療所は当院のみとなってしまう事があげられます。

当院は、循環器・腎臓専門医が常駐し、当該地域の循環器医療を担う医療機関としての役割とともに、当該地域の高齢者医療を支える一拠点になりえると考えます。

また、当院の院長である 井上雅裕 は前職において対応ができなかった患者様を千葉県循環器病センター、成田赤十字病院、千葉西総合病院、おおたかの森病院、新東京病院等にご紹介をするなどの連携をとってまいりました。この関係を生かし、今後も他の医療機関や行政との連携を強化し、患者様へのサービス向上、地域診療体制の充実を目指す所存であります。

以上

具体的対応方針一覧

【香取海匠保健医療圏】

No.	医療機関名	2025年以降に担う役割（予定を含む）										2025年以降における機能別病床数						変更の理由等					
		がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他	補足	高度急性期	急性期	回復期	慢性期		計	休棟等	移行予定	備考	
【病院】																							
1	千葉県立佐原病院	○	○				○	○				○	○	感染症		122	44		166	29		・2023年変更(R4第2回) (変更前)急151、回48、休0 ほか結核病床4床	
2	香取おみがわ医療センター	○	○	○	○		○	○			○	○	感染症		100			100			・2019年変更(R元第2回) (変更前)休70		
3	国保多古中央病院	○	○	○	○		○	○			○	○	感染症		40	46		86			・2025年変更(R7第1回) (変更前)急65、回34 ・2025年変更(R6第2回) (変更前)急69、回30 ・2021年変更(R2第1回) (変更前)急90、回15	香取海匠保健医療圏で不足する回復期病床を増床して地域連携を強化するとともに、医療から介護サービスまでを提供する当院のケアミックス機能を拡充するため、急性期病床の一部を転換し地域包括ケア病床を拡大する。 ・R7、7～ 急性期52床、回復期34床、計86床 ・R7中 急性期40床、回復期46床、計86床	
4	東庄町国民健康保険東庄病院						○				○		町に唯一の病院として救急要請した町民の約3割が当院へ搬送されていることから今後も救急対応は行っていく			32		32			R6、4療養病床48床（慢性期）を介護医療院へ転換済		
5	医療法人社団明芳会イムス佐原リハビリテーション病院										○		回復期リハビリテーション病棟療養病棟			157	60	217					
6	医療法人社団華光会山野病院	○	○	○	○						○	○	認知症				26	26					
7	医療法人社団寿光会栗源病院										○						165	165					
8	医療法人三省会本多病院					○									30		30						
9	銚子市立病院	○	○	○	○		○	○			○	○	感染症		60	30	30	120			・2024年変更(R5第3回) (変更前) 急80、回30、慢30、休69		
10	総合病院国保旭中央病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感染症	75	688			763			・2024年変更(R5第3回) (変更前)高71、急692		
11	医療法人社団圭寿会児玉病院	○	○	○	○												77	77					
12	医療法人厚仁会内田病院										○		慢性期機能				60	60	17		(変更前) 慢77、休0		
13	医療法人積仁会島田総合病院	○	○	○	○		○	○			○				96		96	60		・2025年変更(R7第1回) (変更前)急120、休60 ・2024年変更(R5第3回) (変更前)急153、回8、休24	地域医療における地域包括ケアシステムの構築に当たり、病床規模の適正化を図るため。		
14	医療法人財団みさき会たむら記念病院				○						○		脳卒中後のリハビリ受入れを強化		70		97	167					
15	ロザリオの聖母会重症心身障害児施設聖母療育園										○		重症心身障害児者入所施設でもあるため、法律改正がない限り現状維持				54	54					
16	医療法人黒潮会田辺病院	○	○	○	○						○					22	23	45			・2024年変更(R6第1回) (変更前)回45		
17	国保匠瑳市民病院	○	○	○	○		○				○	○	新興感染症や再興感染症の発生に備え、発熱外来と感染症病床を整備、中等症までの陽性患者の入院治療を行う		35 (84)	35 (15)		70 (99)			・2025年変更(R7第1回) 令和11年2月の供用開始予定前に、令和8年9月に急性期14床を削減予定。 ・2024年変更(R5第3回) (変更前)急84、回15 ※上段は整備後の病床数。 ※下段()は2025時点の病床数	現在の病床稼働数から鑑みると、環境が悪い病床（狭い等）を削減し、入院環境を改善するため。急性期病床が過剰で回復期病床が不足している当医療圏にとって、地域医療構想の実現に必要と考える。また、令和10年度完成予定の新病院は全室個室化により、効率的な病床稼働が行える計画である。	
18	九十九里ホーム病院	○	○	○	○		○				○		がん、脳卒中、心血管疾患、については急性期ではなく、回復期・維持期に対応 救急については地区の一次二次当番医を担当		44	51	50	145			・2023年変更 (変更前)急44 回22 慢83		

No.	医療機関名	2025年以降に担う役割（予定を含む）											2025年以降における機能別病床数					変更の理由等	
		がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他	補足	計	休棟等	移行予定	備考		
																			高度急性期
【診療所】																			
19	医療法人社団清英会鈴木眼科医院											○ 白内障			7			7	
20	医療法人社団根本医院	○			○										(16)			(16)	機能別病床数未回答(括弧内はR3病床機能報告から)
21	医療法人社団増田産婦人科											○ 産婦人科			19			19	
22	飯倉医院	○														16		16	
23	(仮称) 香取レディースクリニック								○						10			10	令和4年8月着工予定
24	香取心臓透析クリニック			○											6 (0)			6 (0)	新規開設 (R7第1回) 2026年1月開院予定 ※上段は整備後の病床数。 ※下段()は2025時点の病床数

注1) 前回報告時以降、具体的対応方針に変更があった医療機関の列を着色（薄緑色）しています。

注2) 一覧表に記載の「2025年に担う役割」「2025年における機能別病床数」に変更があった場合は、県まで報告をお願いします。